



親子自然ウォッチング 2013

わんぱく遊び隊通信

No.123 2013年08月06日 発行

川で魚とりをしよう！ 琴似発寒川(札幌市西区)

2013年7月6日(土曜日) 天気 はれ

街中の川ですが、いろんな種類の魚が見られる琴似発寒川。たも網で魚や水生昆虫をとったり、イタドリ釣竿でハゼ釣りに挑戦しました！

なんでもフルーツバスケット



帽子がぶついている人！

魚のとり方



講師のおやしです

魚とり開始！



さあ！とるぞ～

はじめはゲームと準備体操！川は滑りやすい石がごろごろして歩きにくいのでしっかり準備します！

今回はおやしこと角田さんが魚先生！たも網を使った魚のとり方を教えてもらいました。



網に入ったかな??



つかまえたよ！



上流から足で魚を網に追い込みます！

まずは川に入って自由に魚とりに挑戦してみます。親子で力を合わせたり、お友達と一緒に取ったり、いろいろ挑戦してみました！

ハゼ釣り



結構本格的だよ！

釣りにも挑戦！イタドリの竿でハゼの仲間などを釣ります。エサはミミズ。みんな上手に釣っていました。

いえーい！



釣れたよ！



わたしも♪

観察できた生きもの：アメマス、ヤマメ、シマウキゴリ、トウヨシノボリ、フクドジョウ、ヌマチチブ、ヤツメウナギ、ウグイ、モクスガニ、スジエビ、ヌマエビ、トビケラの仲間、ヘビトンボ幼虫、ヤゴ、カワゲラの仲間



ほくも！



エサを自分で針につける達人も！



この日は真夏日！暑いので泳いじゃう子も



冷たくて気持ちいい～



小さい子はタッチプールで魚とふれあいました

タッチプール



魚の観察

とった魚をみんなで観察！種類ごとに水槽に入れておやじさんの解説を聞きました。琴似発寒川に魚が多い理由がわかったね。



今回は赤ちゃんも参加！

琴似発寒川と魚の関係

琴似発寒川の中で、今回「川で魚とり」を実施した辺りでは、色々な種類の魚が観察できました。その理由の一つは、魚とりをした場所が海と連続しているためです。北海道の淡水魚は海との関係が深く、海と川を行き来しながら暮らしている種類（回遊魚と呼ばれます）がとても多いことが特徴です。「川で魚とり」を実施

した辺りでは、このような回遊魚が生活できる環境が残されているため色々な種類が見られるのです。たくさんの魚が生活している琴似発寒川。こんな川が身近にあることは大事なことだと思います。これからも川に出かけ、魚のことをもっと好きになってもらえたらと思います。

コラム おやし

発行・お問合せ 自然ウォッチングセンター

〒005-0005 札幌市南区澄川5条10丁目4-16 Tel:011-583-5208 Fax:011-583-5233

E-mail:wankuasobitai@tea.ocn.ne.jp URL:http://homepage2.nifty.com/watching/ 通信編集:よね

後援:札幌市教育委員会 / この活動は、子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構)の助成金交付を受けて行うものです。